平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　日本開閉器工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6943　URL　http://www.nikkai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大橋　智成
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 市川　忠夫　TEL 044-813-8026

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日　配当支払開始予定日　平成25年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,568	△0.2	294	△4.6	327	16.5	221	2.8
25年3月期第2四半期	3,574	△4.1	308	△1.2	281	△0.6	215	△22.6

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　310百万円　(190.0%)　25年3月期第2四半期　107百万円　(△31.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.88	―
25年3月期第2四半期	26.13	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	12,787	10,607	83.0	1,288.22
25年3月期	12,761	10,355	81.1	1,257.40

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　10,607百万円　25年3月期　10,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	7.00	12.00
26年3月期	―	5.00			
26年3月期(予想)			―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	12.5	540	△15.0	600	△14.2	360	△28.5	43.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,425,200 株	25年3月期	8,425,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	190,858 株	25年3月期	189,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,234,756 株	25年3月期2Q	8,237,086 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業務見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府主導による各種経済政策や金融政策への期待感から、円高是正や株価の上昇による企業収益の向上や個人消費に回復の兆しが現れるなど、景気は緩やかな回復基調にあるものの、企業の設備投資は引続き低調な状態が続き、実体経済への波及効果は依然として実感に乏しい状況が続いております。また海外においても欧州の債務問題の長期化や米国の財政状況、中国をはじめとする新興国経済の減速など景気を下押しするリスクもあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましては、９月迄の出荷額累計で前年同期比99.4％と設備投資回復の動きが感じられるものの、残念ながらアベノミクス効果の影響も薄く、本格的な需要の回復には程遠く、前年同期比を下回る厳しい状況が続いております。

こうした中、３ヵ年の中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」では「世界一の産業用スイッチメーカー」となるべく「北米市場シェアアップ」をビジョンに掲げ、販売体制を過去からのローカルディストリビューターをベースにグローバルディストリビューター(以下GD)・カタログディストリビューター(以下CD)へと販売網の拡大を図る中で、グローバル化やボーダーレス化の社会に順応してまいりました。近年ではGDとの更なる関係強化を図ることはもとより、新規顧客の獲得とデザインエンジニアリングレベルで新規デザインへのNKK製品採用を増加させるためCDとの関係強化を推進し、2013年4月末には北米における大手CDとグローバル販売契約を締結しました。一方、ものづくりメーカーとしてその継続を磐石なものとするために、開発力・技術力はもとより品質力の向上に努め、お客様の信頼を裏切ることのないように努力しております。

そのような中、当第２四半期連結累計期間の売上高は35億6千8百万円（前年同期比0.2％減）、営業利益は2億9千4百万円（前年同期比4.6％減）、経常利益は3億2千7百万円（前年同期比16.5％増）、四半期純利益は2億2千1百万円（前年同期比2.8％増）となりました。

当社は「競争力強化」と「体質強化」に尽力していくことを基本姿勢とし、今後ともメーカーとしての役割である「ものづくり」をNKKグループ一丸となって推進してまいります。

なお、セグメントの概況は次の通りであります。

①　日本

日本国内は、2020年の東京オリンピック開催の決定や、金融緩和をはじめとした各種政策など経済成長への期待感が見られる一方で、消費税増税等に対する不安感もあり、景気の先行きが不透明な状況であります。

販売強化項目の拡販を積極的に取り組み、足で稼ぐ営業を実践してまいりましたが、当第２四半期連結累計期間の売上高は26億7千5百万円（前年同期比7.7％減）となりました。販売の原点に立ち返り足で稼ぐ営業を強化していくことで、まだ入り込めていない既存市場に加え、これから急成長を遂げるであろう新興市場の開拓を行ってまいります。

②　米国

中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」のビジョンである「北米市場シェアアップ」について販売強化項目に注力した販売活動を積極的に行いましたが、現地通貨ベースでは前年同期比4.4%減となりました。しかし為替の影響により、当第２四半期連結累計期間の売上高は11億2百万円（前年同期比19.0％増）となりました。

③アジア

当社は中国市場を日本、北米に続く第三の市場と位置づけております。中国経済に改善の兆しが見え始めたものの、回復力が弱く、成長ペースが鈍化している影響もあり、現地通貨ベースでは前年同期比22.6％減となりました。しかし為替の影響により、当第２四半期連結累計期間の売上高は、9億6千万円(前年同期比3.8％減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産

資産合計は127億８千７百万円（前連結会計年度末比２千６百万円の増加）となりました。

主な要因は、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比２億４百万円の増加）、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比１億３千９百万円の減少）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比３千６百万円の減少）によるものであります。

②　負債

負債合計は21億８千万円（前連結会計年度末比２億２千５百万円の減少）となりました。

主な要因は、その他流動負債の減少（前連結会計年度末比９千９百万円の増加）、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比８千１百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比５千６百万円の減少）によるものであります。

③　純資産

純資産合計は106億７百万円（前連結会計年度末比２億５千２百万円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比１億６千３百万円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比４千７百万円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比４千１百万円の増加）によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月17日付にて公表した連結業績予想につきましては変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,826,020	5,686,043
受取手形及び売掛金	1,361,974	1,325,137
商品及び製品	769,001	973,522
仕掛品	130,072	115,877
原材料及び貯蔵品	1,190,092	1,194,037
繰延税金資産	115,320	121,067
その他	98,429	94,176
貸倒引当金	△2,464	△2,582
流動資産合計	9,488,445	9,507,280
固定資産		
有形固定資産	1,426,599	1,398,181
無形固定資産	661,160	634,375
投資その他の資産	1,185,194	1,248,010
固定資産合計	3,272,953	3,280,568
資産合計	12,761,399	12,787,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,223,469	1,142,380
未払法人税等	104,184	47,428
引当金	124,500	105,624
その他	478,365	379,190
流動負債合計	1,930,519	1,674,623
固定負債		
繰延税金負債	75,522	90,831
役員退職慰労引当金	162,200	169,000
退職給付引当金	122,127	129,264
その他	115,450	116,459
固定負債合計	475,300	505,556
負債合計	2,405,820	2,180,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,799,736	8,963,400
自己株式	△158,227	△159,029
株主資本合計	10,426,614	10,589,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,844	204,833
為替換算調整勘定	△233,879	△186,641
その他の包括利益累計額合計	△71,034	18,192
純資産合計	10,355,579	10,607,667
負債純資産合計	12,761,399	12,787,848

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	3,574,881	3,568,525
売上原価	2,157,998	2,051,747
売上総利益	1,416,883	1,516,778
販売費及び一般管理費	1,108,484	1,222,631
営業利益	308,399	294,146
営業外収益		
受取配当金	11,434	13,862
為替差益	－	22,429
受取賃貸料	4,694	4,337
その他	4,915	5,357
営業外収益合計	21,044	45,987
営業外費用		
支払利息	761	661
売上割引	7,791	9,087
賃貸収入原価	2,315	2,503
為替差損	37,265	－
その他	216	368
営業外費用合計	48,351	12,621
経常利益	281,091	327,513
特別損失		
固定資産除却損	403	6,843
特別損失合計	403	6,843
税金等調整前四半期純利益	280,688	320,669
法人税、住民税及び事業税	54,527	112,080
法人税等調整額	10,888	△12,724
法人税等合計	65,415	99,356
少数株主損益調整前四半期純利益	215,273	221,313
少数株主利益	－	－
四半期純利益	215,273	221,313

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	215,273	221,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,226	41,989
為替換算調整勘定	△50,966	47,238
その他の包括利益合計	△108,193	89,227
四半期包括利益	107,080	310,541
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,080	310,541
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。